

海外派遣留学生
留学報告書
韓国・漢陽大学

学部学科・研究科専攻	文化社会学部広報メディア学科		留学時学年	2年
留 学 先	国	韓国	大学/機関	漢陽大学
期 間	2025年8月5日～2025年8月23日			
	短期		計1ヶ月	

[1] 参加したコースの時間数と時間割

・科目名（受講した科目を全てご記載ください）：

「午前」

・「韓国語」の授業

教科書に沿って、日常の単語（洗剤やタオルなど）、
韓国語の話し方（～は、尊敬語など）、発音の変化の法則
などを学びました。

「午後」

・韓国語の「発音」の授業 計3回

韓国語の読み方（オの発音2種類、語尾は上げるのか下げるのか、など）

・K-popの歌詞から文法などを学ぶ 計1回

・韓国ドラマから文法などを学ぶ 計1回

「1日フィールドトリップ」

学校からバスにのり、田舎体験を行いました。

山や川があり、自然豊かでした。

お餅やコチュジャンを作ったり、チヂミを食べたりしました。

ハンモックがある森に行ったり、水上レジャーができる場所、
バナナの木の見学もしました。

「補足」

月曜日から金曜日まで授業がありました。

午後は、日によって終了時間が変わりました。

終了時間は、2通りありました。

- 1 授業がある日：15時50分終了
- 2 メンターの方と交流をする日：16時50分終了
メンターの方は、クラスごとに割りふられていました。
キーホルダーの制作や有名な劇の鑑賞、
漢江の遊覧船への乗船、チキンの食事などもありました。

【時間割】

時 間	月	火	水	木	金	土	日
9時～12時50	○	○	○	○	○	Free	Free
14時～15時50						Free	Free
16時～16時50						Free	Free

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

「クラス分けテスト」

韓国に留学する前に、クラス分けテストがありました。
クラス分けテストでは、先生と話したり、文法を使って絵の説明などをしました。

「クラス」

日本各地のさまざまな大学から、留学に来ている人がいました。
クラスによって、人数は異なりまして。だいたい8人前後のクラスでした。

「授業に必要なもの」

学校から配布された教科書、筆記用具。

「授業」

授業は、教科書の内容に沿って、行われました。
スライドに投影された教科書の内容を、ノート等に写しながら理解し覚えました。

「教科書」

教科書は、章ごとになっており、その章のテーマとなるイラストとともにキーワードとなる単語が書かれていました。先生が、単語を説明してくれましたが、それでもわからないときは、同じクラスの子に教えてもらったり、スマホで調べたりしました。

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

放課後や週末は、ソウル市内の観光をたくさんしました。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。（図書館、学生会館、スポーツ施設等）

・漢陽プラザ

「漢陽大」駅から出ると、門ではなく、そのまま漢陽大学の敷地となっています。
駅からまっすぐ歩いた先にある建物が、漢陽プラザです。

漢陽プラザの 1 階には、セブンイレブン、ゴンチャがあります。
奥に進むと、フードコート、上の階には、食堂があります。

- 博物館

オリエンテーション、卒業式の日にご利用しました。

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋 2 人で使用

様子：2 人で使用する共用部から、さらに部屋が分かれているのでプライベートが保たれていました。

「部屋」

部屋には、机、クローゼットがありましたが、ハンガーはありませんでした。

寝具としては、ベッド、シーツ、薄い布団、枕がありました。

エアコンは、操作をしていなくても、消えることがありました。

「宿舎の食堂」

地下にあり、利用時間が決まっていました。

「宿舎の冷蔵庫」

地下 1 階にありました。

「宿舎の洗濯機」

洗濯機の利用時間が決まっていました。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- 楽しかったこと： 「好きなこと」
わからないことがあったとしても、
好きなことがあると、楽しいと思うときもあるのかもしれないです。

しかし、好きなことが見つかるということは、
簡単なことではなく、時間もかかります。

よって、好きなことはすごいことであると考えました。

言っていることがわからなくとも、好きなことがあると、
楽しく過ごすことができました。

● 苦労したこと： 「自分に合った、くつ」

寮から、坂を下り、そして違う坂を登り、学校に到着します。
韓国は坂が多く、中にはきつい坂もあります。
歩くことが多いと思うので、靴擦れしないなど、
自分に合う靴も大事なのではないかと考えました。
坂を歩く機会が多いので、足に合った靴擦れしない靴を用意したほうが
良いです。

「雨具」

私が行った時は、大粒の雨が降りました。
傘をさしたとしても、濡れてしまうほどの雨も降りました。
大雨が降ることも多いので、傘以外にもレインコートなどがあると良いと
思います。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

「単語」

日常生活で使う単語を学ぶことができました。
例えば、洗剤、引っ越し、などのレベルの単語です。

「発音」

基礎から学ぶことができた。
発音の変化のしくみなどを教えていただいた。

2) 専門知識の向上：

「韓国の文化」

学校の授業を通し、韓国の文化を少し知ることができた。

授業で扱う教科書には、引っ越し祝いの時に何を持っていくのかなど、
韓国の文化も載っていました。

また、韓国では、トイレとシャワーがすぐ隣にあることが多いです（寮のトイレとシャワ
ーにも、仕切りがありませんでした）。

その理由が先生が教えてくださったこともありました。

その理由は

お風呂に入りながら、シャワーでトイレ掃除をすることができるからだそうです。

「韓国の地下鉄料金」

韓国の地下鉄には、1 回およそ 1500 ウォンで乗ることができます。
(1 ウォン=0.11 円)

「韓国料理は量が多い」

食べ物の値段は、日本とあまり変わらず、1000 円ぐらいでした。
しかし、量がとても多かったです。

「車だけでなく、その周囲にも気をつけて」

日本でも同じですが、道路を横切るとき、車の近くを歩くときなどは気をつけてください。

3) 自己成長など

「風景」

街並みを観察したことにより、地図を見なくとも、道をわかることができたことがありました。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

「ワーパス」の購入

このカードは、飲食店やコンビニ、ショップで、交通系 IC として
料金を支払うことができます。

「何があるのか」

寮・学校の最寄りの駅「ワンシムニ」「漢陽大」駅から近い、ソンス（聖水）は、
かつて工業地帯として栄えていました。
工業地帯のような街並みや建物の中が、カフェになっていたお店がありました。

この土地の有名な食べ物は何か、なぜ有名なのか、など、背景を知ると、より楽しめます。

食べ物の名前を知っていると、メニューを見た時に、
すぐに注文をすることができます。ただ、何回も、文字を見ていると、いつしか覚えて
いるので心配はいらないと思います。

「シチュエーションごとの単語」

例えば、カフェなどでは、テイクアウト、イートイン
駅では、乗り換え。

買い物をするとき、ご飯を食べるとき、困ったときの会話などでは、
その場、その場の状況によって使われる単語が異なる。

日常会話とはまた少し違ったレベルの言葉も知っておくと良いかもしれません。

もしわからない場合は、現地の友人になんと言っていたのかを教えてもらったり、
買い物などをたくさんしていくうちに、覚えようと思わなくても、いつのまにか覚えられて
いることもありました。

「楽しい」

「気楽に、たくさん聞いて、ただ話せば良い、ノーストレス。

内訳			金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ	旅行会社に支払った経費（授業料、フライト代他）	15 万円
2	中期・長期留学者のみ	フライト代	
3	中期・長期留学者のみ	滞在費（寮費など）	
4	教材費		
5	保険代		
6	私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）		8 万円
7	個人的な買い物		
8	その他（ ）		
9	留学に関する費用（1 から 8 の合計）		23 万円
10	受給した奨学金(奨学金名：)		
11	留学に関する費用総額（上記 9 から 10 を引いた額）		

漢陽大学



冷麺

